

初の全国大会出場決める

創部3年
悲願達成
美作大女子ソフト部

創部3年目の美作大女子ソフトボール部が、西日本大学ソフトボール選手県大会中国地区予選(17、18日、広島県竹原市)で3位

以内を獲得し、初の全国大会出場を決めた。岩手県花巻市で開催される全日本大学ソフトボール選手県大会(インカレ、8月30日〜9

月1日)に向け、毎日練習に励んでいる。

同予選には7校が出場。中国学園大戦は6回0-3から4-3で逆転勝ち。環太平洋大には3-9で敗れたが、鳥取大を7-0で下し、悲願の出場権をつかみ取った。

創部当初は練習場所も道具もなく、部員3人で公園の片隅でキャッチボールから始めた。2年目、8人の新入部員を得てチームを結成。部員たちでグラウンド

を整備し練習場所を確保。試合に出場できるようになったが、大差での連敗が続いた。部員らにとってはこの時期がとてもしんどく感じられたという。

それでもくじけずに練習を重ね、昨年8月初旬の西日本インカレ



全国大会初出場を決めた美作大女子ソフトボール部

で1勝しベスト16に。同月中旬に開かれた「大

学女子学生ソフトボール大会 in 八幡浜」エキストラマッチで優勝した。今年も部員も17人に増え、着実に力をつけている。

「よく練習している。技術力はもちろん、人間力も身につけて誰からも応援されるようなチームをつくりたい」と土谷文乃監督(25)。大崎遥主将(児童学科3年、岡山南高出身)と林朋茄ゲームリーダー(同、津山商高出身)は「やっと今までの努力が報われ、本当にうれしい。練習に励み、より一層チーム力を高めて上位を目指したい」と意気込んでいる。